

<FCC 事業報告> (H29 年度)

国際連携支援事業

- インターンシップ

本センターが大学院総合化学院と連携し、真に国際的な若手研究者の育成を強力に推進することを目的とし、外国の大学院等で研鑽する外国人学生の短期受入および総合化学院学生の海外大学院等研究機関への短期派遣を実施している。

本インターンシップに参加した総合化学院学生には、「総合化学先端講義（インターンシップ）」の 1 単位を認定している。

<派遣学生：計 18 名>

英国・オーストリア・ドイツ・スイス・フィンランド・韓国（各 2 名）、

米国・カナダ・シンガポール・台湾・スペイン・ロシア（各 1 名）

<受入学生：計 25 名>

台湾（18 名）・中国（3 名）、米国・ノルウェー・オーストラリア・インド（各 1 名）

- 若手教員国内/国際会議派遣助成事業

9 名（アメリカ、イタリア、フランス、スウェーデン、カンボジア、キューバ各 1 名、国内 3 名）

- その他

ダブルディグリープログラム学生 RA 雇用（1 名：5 か月）

海外企業セミナー「北海道大学博士課程教育リーディングプログラム

～物質科学フロンティアを開拓する Ambitious リーダー育成プログラム～」を共催、

4 名（教員 3 名・学生 1 名）をイギリスへ派遣した。

共催支援事業

- 講演会・シンポジウム件数、謝金支援

以下 43 件の内、31 件（主催 16 件、共催 15 件）が総合化学院講義（総合化学特別研究第二/化学研究先端講義）の対象。謝金支援を 15 名に実施。

<講演会>

主催 20 件（外国人講師 17 名、国内講師 3 名）

共催 14 件（外国人講師 13 名、国内講師 1 名）

<シンポジウム>

共催 9 件

- 旅費支援

外国人講師招聘 2 名

- その他

予稿集印刷製本費補助（3 件）

研究支援事業

- 若手フェージビリティスタディ支援事業

物質変換と物質創製を担う最先端化学に関し、時代を担い世界をリードする若手研究者の育成を目指しており、募集の中から採択されたプロジェクトに対し研究経費を支援する。

4 名採択

- その他

研究消耗品購入支援 等